

語数: 89語 目標時間: 15分 文の形: want/ask+人+to ねらい: 「だれに何をしてほしいのか」を読む

 **場面** 合唱コンクールの実行委員に、担任からの英語メモが回ってきました。「だれに・何をしてほしい」という依頼が5つ。取りちがえたら本番が止まる——精読あるのみ。

 **精読とは** 速く読む練習とは反対に、1文ずつ「だれが・どうする・なぜ」まで説明できるように読みます。辞書を使ってOK。
①②…は文の番号です。

読 担任からの連絡メモです。

①Here are the jobs for the chorus contest.
②I want Ken to carry the keyboard to the hall at 1:30.
③I asked Ms. Ito to open the music room, so get the key from her.
④Yui, please tell the members to bring their score books. ⑤Some students always forget them.
⑥I would like Mana to check the lights with the staff.
⑦And I want everyone to remember one thing: we don't sing to win.
⑧We sing to send our voice — and our thanks — to the people who have supported us.

 score book=楽譜 staff=係の人

問 設問(10点満点) 記号は()に、書く問題は下の線に。

(1)	文⑤のthemは何を指していますか。日本語で書こう。	2点
(2)	「イトウ先生にすでに頼んであること」がわかる文はどれ？ 番号で答えよう。	2点
(3)	文②の内容に合うのはどれ？ ア. ケンに1時半にキーボードをホールへ運んでほしい。 イ. ケンが1時半にキーボードを買いに行く。 ウ. 先生が1時半にキーボードを運ぶ。	2点 ()
(4)	文⑥の主語・動詞・「してほしい相手」を英語のまま抜き出そう。	2点
(5)	文⑦⑧で先生が全員に忘れないでほしいことを日本語で書こう。	2点

答 解答と許容範囲

(1)	楽譜(スコアブック)	④のtheir score books。忘れ物の常連。
(2)	③	asked Ms. Ito to open the music room。asked＝頼み済み。
(3)	ア	want Ken to carry ～。実際に運ぶのはKen(toの前の人)。
(4)	主語: I 動詞: would like 相手: Mana	would like 人 to ～=wantのていねい形。動作の主はMana。
(5)	勝つためではなく、支えてくれた人たちに声と感謝を届けるために歌う、ということ。	not A. B(Aではない。Bだ)の対比構造。

訳 全文訳(自分の読みと照らし合わせよう)

①合唱コンクールの仕事分担です。②ケンには1時半にキーボードをホールへ運んでほしい。③イトウ先生には音楽室を開けるようお願いしてあるので、先生からかぎを受け取ること。④ユイさん、メンバーに楽譜を持ってくるよう伝えてください。⑤いつも忘れる人がいるからね。⑥マナには係の人と照明の確認をしてもらいたい。⑦そして全員に、1つだけ忘れないでほしい——わたしたちは勝つために歌うのではありません。⑧支えてくれた人たちに、声を——そして感謝を——届けるために歌うのです。

☆じっくり読みのコツ Level 3 want/ask/tell+人+to+動詞の文は、「動作をするのはtoの前の人」。I want Ken to carry＝運ぶのはKen(Iではない)。矢印(だれ→だれに→何を)を書きこみながら読むと、依頼のリレーは絶対に落とさない。

■ 記録しよう 得点___/10 → 8点以上なら次のLevel 4へ。7点以下なら、全文訳を見ながら本文をもう一度読み、(5)の答えを書き直してから次へ。